

## 第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

種別：	小規模住居型児童養育事業
-----	--------------

①第三者評価機関名	
-----------	--

(特非)環境・福祉評価センター
-----------------

### ②施設名等

名称：	釜田学生館
-----	-------

施設長氏名：	釜田 香代
--------	-------

定員：	6名
-----	----

所在地(都道府県)：	長野県
------------	-----

T E L：	090-8724-3647	026-234-7198
--------	---------------	--------------

U R L：	
--------	--

### ③実施調査日

開始日	2023/2/3
-----	----------

評価結果確定日	2023/9/25
---------	-----------

### ④総評

#### ◆特に評価が高い点

①質の高い医療サービスを提供している。  
釜田学生館は医療従事者で運営するファミリーホームである。看護師であるホーム長は同居医師の夫に児童の病気時は相談し、医学的情報を早い段階で受け、治療が受けられるようにしている。同居の補助者は歯科医師で歯科に関する指導と食育を担当している。親族の歯科医院で定期検診を受けている。歯科衛生士によるブラッシング指導・歯石除去などを受けており、看護師資格をもった外部サポーターが医療ケアを支援している。

②理念に沿ったサービスを提供している。  
「子ども達のたくさんの未来を作る」をミッションとし「無限の樹形図」をシンボルにしている。ホーム長はなにより子どもが好きで創設者の思いである理念は釜田学生館の写真や動画を活かした独自のLSW(ライフストーリーワーク)を実施したり、一般の家庭と同じ体験ができるさまざまなサービスを提供している。特にピアノの音楽や英語などの才能について一人ひとりの長所を発見する取り組みが特に優れている。

③児童が生活しやすい環境を整備している。  
2021年児童が生活しやすい環境を作るためにファミリーホームを現在の地に新築した。ファミリーホーム仕様で建築しているため、段差や死角をなくす工夫、壁材、床等、快適に過ごせる工夫がある。木をふんだんに使い、ぬくもりを活かし家庭と養育を両立させ、特に家族のプライバシー、児童のプライバシーに配慮した部屋やプライバシーに配慮された庭となっている。また養育者からも働きやすい環境を整備している。

#### ◆推奨事項

①中長期計画での収支について  
中長期の計画が作成され、単年度の事業計画と予算が策定されている。中長期の視点でファミリーホームが中長期で持続していくための計画であり、中長期の計画と合わせ収支の予算についても検討されることを推奨する。

②関係機関との安全・安心の情報交換の推進  
火災や地震等の緊急事態について、さまざまな対応がされている。現在の建物は耐震や火災について対応されているが、消防署や地区との非常時の対応を協議し実際に訓練して有効性を実証することを推奨する。また、避難は庭やホームのまわりの敷地が確保され他の場所への避難の必要がないかもしれないが、福祉避難所の利用等幅広い選択を確保されることを推奨する。

### ⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

釜田学生館は受託児童の安全と養育者等の働きやすさ・同居家族のプライバシーを考え、寄宿舍扱いで新築した。これをきっかけにファミリーホームの運営が「第2種社会福祉事業」のため、運営状況を整理したいと思い第三者評価の受審を決めた。何より第三者評価の受審がファミリーホームの永遠の努力目標であってはいけないと思った。受審の準備にあたっては、補助者と充実した意見交換ができ、日々養育に関係している事を活字にしていくのが楽しかったというのが印象である。改善点については、1週間以内に対応できた。改善点としての指摘はなかったが、養育者不在の夜間対応マニュアルの必要性に気づき、児童相談所と検討し追加マニュアルを作成した。また、受託児童参加型の勉強会は現在不可能とっていたが、受審をきっかけにたくさんの方の意見を整理したため「受託児童参加型の安全訓練」が計画・実行できるまでになった。よって、第三者評価受審は受託児童・養育者等と同居家族にとって様々な観点から必要なことだと思う。

## 第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

## I 福祉サービスの基本方針と組織

## I-1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者 評価結果
①	理念が明文化されている。	a
②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念「子ども達のたくさんの未来を作る」や基本方針は事業計画書やパンフレットに記載され、養育者らの行動規範として常に立ち返る内容になっている。</li> <li>・事業の方針がわかりやすいイラスト（無限の樹形図）によるポスター、チラシ、名刺、事業紹介資料が作成されている。</li> </ul>		

## I-1 理念・基本方針

(2) 理念や基本方針が周知されている。		第三者 評価結果
①	理念や基本方針が職員に周知されている。	a
②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念や基本方針はホームを立ち上げ時から養育者らと共有できている。</li> <li>・保護者に監護されることが不相当と認められる児童を措置により受け入れており、家族等への直接の説明は、利用者の安全確保のため児童相談所の許可が必要であり、許可を得ている場合は説明している。</li> </ul>		

## I-2 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	中・長期計画が策定されている。	b
②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期計画は、今回文書によりわかりやすく策定されている。</li> <li>・里親委託推進については、里親委託推進委員会の数値目標と分析を共有している。</li> <li>・今後定期的に必要に応じ見直しを行うことを推奨する。</li> <li>・単年度予算の策定はされている。中長期計画では取組の内容について丁寧に策定されている。収支については、策定はこれからである。収入や人件費の推移、必要とする設備投資等についても策定されることを推奨する。</li> </ul>		

## I-2 事業計画の策定

(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果
①	事業計画の策定が組織的に行われている。	a
②	事業計画が職員に周知されている。	a
③	事業計画が利用者等に周知されている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画は年度毎の予算と合わせ作成されている。</li> <li>・事業計画は養育者らと一緒に作成されている。</li> <li>・利用者用は学習室に提示し、月1回の個別面談の時、直接説明している。</li> <li>・家族等については、児童の安全確保のため情報提供が禁止されている場合がある。</li> </ul>		

### I-3 ホーム長（管理者）の責任とリーダーシップ

(1) ホーム長（管理者）の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	ホーム長（管理者）自らの役割と責任を他の職員に対して表明している。	a
②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム長（管理者）は、運営規定により役割を明確にしている。</li> <li>・福祉、医療、児童虐待等について、今までの経験を活かし遵守すべき法令等について取り組みを行っている。</li> <li>・法令遵守の観点での非営利の経営に関する研修の取り組みはこれから取組を検討する予定である。</li> </ul>		

### I-3 ホーム長（管理者）の責任とリーダーシップ

(2) ホーム長（管理者）のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果
①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム長は、理念や基本方針に実現に向け、新規に理念に沿った木のぬくもりを大切に、ホーム長の家族、養育者ら、利用者のプライバシーに配慮したホームを建築し、環境整備に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・会計専門家に財務、経営でのアドバイスをもらい経営や業務の効率化に取り組んでいる。</li> <li>・利用者の養育支援計画について児童相談所と定期的に評価を実施し、養育者らとも月1回ミーティングにより業務の効率化と改善に向けた取組にリーダーシップを発揮している。</li> </ul>		

## II 組織の運営管理

### II-1 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に①医用車		第三者 評価結果
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
③	外部監査が実施されている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託している税理士法人による指導や指摘を受けている。</li> <li>・年度ごとのサービスコストや利用者の推移による単年度予算は作成されているが、中長期計画での収支予算の作成には至っていない。法令等の改正や予想される長期の環境の変化を中長期の収支計画に反映できることを推奨する。</li> </ul>		

### II-2 人材の確保・養成

(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養育者らの内1名が看護師資格を保有し、もう1名は看護師資格を目指している。ホームの特色として医療ケアを充実したファミリーホームを目指している点は特に特色があり長所として評価できる。</li> <li>・養育者らの人員が少ないため、特に人事考課基準は設けていないが、年2回の個人面談を通じ人事管理が行われている。</li> </ul>		

## II-2 人材の確保・養成

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	第三者 評価結果
① 職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・有休休暇については、希望日の取得ができるよう配慮している。夏季休業、冬季休業時にまとめて取得できるよう心掛けている。 ・ホーム長が相談窓口となっている。また、近くの中央児童相談所内の里親担当者やファミリーホーム担当者がいて相談できる。	

## II-2 人材の確保・養成

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	第三者 評価結果
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・養育者らの内1名が看護師資格を保有し、もう1名は看護師資格を目指している。ホームの特色として医療ケアを充実したファミリーホームを目指している。 ・養育者ら2名の研修計画を児童相談所の案内に従って、座学・実習(児童養護施設・乳児院)を計画している。	

## II-2 人材の確保・養成

(4) 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者 評価結果
① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・国家資格レベルの実習生対象にファミリーホームがなっていないことにより、学校との具体的プログラムはない。ホーム長は児童相談所が行う里親研修の実習の場所の一つにファミリーホームがなって欲しいと希望している。	

## II-3 安全管理

(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
① 緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b
② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	b
③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・長野市防犯防犯情報、災害情報、長野市教育委員会・学校からの安心ネット情報を得る仕組みがある。 ・利用者の安全を脅かす他の事例や自ホームでの脅かしそうな事例(ヒヤリハット)を収集整理し研修を含め実施することを期待する。 ・福祉避難所との連携、消防署との立合いによる避難訓練について今後リスクを把握した上で実施し、実効性や有効性について評価・見直しを行うことを期待する。	

## II-4 地域との交流と連携

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	b
②	事業者が有する機能を地域に還元している。	b
③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全、安心を最優先にしているため、地域とのかかわりは家庭としての関わりに限られファミリーホームとしての詳細な情報は公開していない。</li> <li>・ボランティアについては、利用者の安心、安全を最優先させ、内部の詳細な情報は公開しない方針を理解できる長野看護専門学校の学生で個人の希望者のみ受け入れている。</li> </ul>		

## II-4 地域との交流と連携

(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果
①	必要な社会資源を明確にしている。	a
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が在籍する幼稚園、学校、児童相談所との連携が取れている。特に近くにある中央児童相談所とは連携がよく取れている。他のファミリーホームとは連絡会を通じ連携している。</li> </ul>		

## II-4 地域との交流と連携

(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		第三者 評価結果
①	地域の福祉ニーズを把握している。	b
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里親事業については、中・長期計画や事業計画で明示している。</li> <li>・利用者の地域との理解を得るため民生委員と定期的な交流に努めている。</li> </ul>		

## III 適切な福祉サービスの実施

### III-1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利擁護について長野県で作成する配布資料の作成に協力した。</li> <li>・作成された資料をもとに、利用者尊重・基本的人権に配慮した研修を実施する予定である。</li> <li>・プライバシーに関する取組として、2021年12月に利用者が生活しやすい環境を作るためにファミリーホームを新築した。トイレ、浴室、個室についてはプライバシー保護の観点から工夫されている。また、養育者らの執務も個室となっている。家族も同居しているが養育と生活の両立ができるよういままでの経験を活かしている。</li> </ul>		

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(2) 利用者満足の上昇に努めている。	第三者 評価結果
① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・利用者とは定期的に個人面談を実施し意見や要望の把握に努めている。 ・「苦情・意見箱」の設置はリビングに設置されている。具体的な苦情や要望の事例はなかった。	

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	第三者 評価結果
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・苦情、意見の受付は現在までない。 ・利用者との個人面談を重視して取組んでいる。	

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	第三者 評価結果
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b
② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・今回が第三者評価が初回である。今後定期的な受審を希望する。	

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・利用者と月に一度、面談を行っている。苦情記入カードは個人の部屋と学習室に設置している。 ・苦情相談のポスターは学習室に掲示してある。 ・第三者委員1名選任している。	

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	第三者 評価結果
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・年に一度、県の指導監査に基づき評価を行っている。	

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者 評価結果
①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・ホームを紹介する資料やポスターはあるが、現在は利用者の安全確保のため、特定の場所のみに紹介する資料等を配置している。 ・措置により入所するケースが多く見学、体験入所、重要事項説明書等の利用はされていない。		

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		第三者 評価結果
①	事業者の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・サービス終了時は、依存や自立のため、あえて文章化を控えている。		

### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(1) 利用者のアセスメントが行われている。		第三者 評価結果
①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・児童相談所の養育支援計画書の様式を使用し、定期的に児童相談所と見直しをしている。		

### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		第三者 評価結果
①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・毎月1回、児童相談所の担当者が訪問してくれ、相談、見直し等している。		

## 第三者評価結果（小規模住居型児童養育事業）

### A-1 利用者の尊重

(1) 利用者の尊重		第三者 評価結果
①	子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考え、ホームにおける生活改善ができるよう取り組んでいる。	a
②	ホームでの生活及び援助について事前に説明し、子どもが主体的に決定できるよう支援している。	a
③	多くの生活体験を積ませる中で、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通して、健全な自己の成長や問題解決力を形成できるよう支援している。	a
④	多くの人たちとのふれあいを通し、子どもが人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重し共生できるよう支援している。	a
⑤	子どもの発達に応じて、本人に出生や生い立ち、家族の状況等を適切に知らせている。	a
⑥	被措置児童等虐待防止と早期発見に取り組んでいる。	a
⑦	子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・月間行事などの体験や経験の他に、音に優れている子どもの素質を見抜きピアノを習わせたり、言葉が苦手な子どもには英語ならどうだろうかと、その子どもの特性を生かす努力をしている姿が見える。 ・自主的な取り組みができるよう里親の会やファミリーホームの会、民生委員、日頃から近所の人とも挨拶をしている。		

### A-2 日常生活支援サービス

2-(1) 支援の基本		第三者 評価結果
①	子どもと養育者らの信頼関係を構築し、個々の子どもの発達段階や課題に考慮し援助している。	a
②	子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・お風呂の時間や就寝時も一緒なので、触れ合う時間は多く子どもの気持ちを汲み取りやすい。 ・生活のルールや約束は毎月、話し合う場があり、学習室に掲示されていた。 ・養育者らの子どもとの会話や養育に対する姿勢から子どもとの信頼関係が構築している様子が伺える。		

2-(2) 食生活		第三者 評価結果
①	食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも配慮している。	a
②	発達段階に応じて食習慣を習得するための支援を行っている。	a
③	子どもの生活時間にあわせて食事の時間を設定している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・食事作りでは、買い物や切るなど調理を一緒に関わることで興味もわき楽しく食べられている。 ・現在はアレルギー児はいない。乳児検診で栄養士の指導を受け取入れている。 ・発達の障害に合わせて工夫している様子がうかがえた。R5・6月ホーム内研修で「栄養管理と食育」が計画されていた。 ・オール電化されており、調理が安全にできるよう工夫されている。		

2-(3) 衣生活		第三者 評価結果
①	衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを提供している。	a
②	子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるよう支援している。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) ・母親と衣服を一緒に購入をする機会を設けている。 ・個々の収納スペースが確保されていて、収納場所に工夫がされている。		

2 - (4) 住生活	第三者 評価結果
① 住居全体が生活の場としての安全性や快適さを配慮したものになっている。	a
② 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住空間は死角を少なくすることや、快適で安心して過ごせるように工夫が施されている。</li> <li>・身の回り品も個別で整理され、個室にはベットと収納スペースが用意されていた。</li> </ul>	

2 - (5) 衛生管理、健康管理、安全管理	第三者 評価結果
① 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、適切に対応している。	a
② 発達段階に応じ、身体の健康を自己管理できるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム長は看護師であり、連携している医療機関とも密接な関係である。</li> <li>・現在は服薬する児童はいないが週6日で皮下注射している児童がいる。注射の必要性を理解し準備と片付けは児童が行っている。</li> <li>・利用者のうち幼児には毎日ウンチカレンダーを付けていた。健康面での管理で利用されている面があるが、発達に応じた貴重な自分記録なので長期に保存してLSW(ライフストーリーワーク)の記録としても役立ててほしい。</li> </ul>	

2 - (6) 問題行動に対する対応	第三者 評価結果
① ホーム内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないようにホーム全体に徹底している。	a
② 子どもの問題行動に適切に対応している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題行動は現在は起きていない。</li> <li>・中央児童相談所が近くにあり、すぐに対応してくれている。</li> </ul>	

2 - (7) 自主性、自律性を尊重した日常生活	第三者 評価結果
① 子どもが余暇を有効に活用できるよう配慮している。	a
② 買い物や外出、旅行などは、子どもとともに計画し、実施している。	a
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう援助している。	a
④ ホームが地域に開かれ子どもが友人や地域との関係を深められるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養育者らが、子どもの演奏するピアノを楽しみにしている様子がうかがえた。</li> <li>・テレビ等は以前は見えていたが、現在は発達の状況で見えていない。子どもの生活が落ち着いたら、今年度から子どもと一緒に外出計画をしたい要望がある。</li> <li>・友達がホームへ遊びに来ることや地域社会との交流は子どもの安全と安心を優先し選択している。</li> </ul>	

2 - (8) 学習支援、進路指導等	第三者 評価結果
① 学習環境を整備し、学力に応じた学習支援を行っている。	a
② 学校との連携により子どもの状況に応じた支援を行っている。	a
③ 学校を卒業する子どもの進路について、幅広い選択肢のもと、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習等は、自分から身に付く支援は難しいが、日課として、養育者らが家庭学習のプリントを用意し、朝と夕方に行っている。</li> <li>・進路については対象となる子どもはいないが体制は整っている。</li> </ul>	

2 - (9) メンタルヘルス	第三者 評価結果
① 虐待を受けた子どもなど心理的なケアを必要とする場合は、心理的な支援ができるよう関係機関と連携している。	a
② 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性について正しい知識を得る機会を設けている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待等による心理的ケアは、児童相談所と相談して行っている。</li> <li>・現在の対象の子どもは年齢的に幼く、愛着形成を中心に行っている様子がみられた。</li> <li>・R5・7月に「性教育について」ホーム研修を計画している。</li> </ul>	

2 - (10) 家族とのつながり	第三者 評価結果
① 児童相談所等と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制づくりができている。	a
② 関係機関と連携し、子どもと家族の関係づくりのために面会、外出、一時帰省などの機会を保障している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に監護することが不相当と認められる子どもを措置により受け入れているため家庭との連絡は、様々な問題で直接伝えることができない。</li> <li>・何かあれば児童相談所と連携して家族との関わりを考慮して行っている。</li> </ul>	